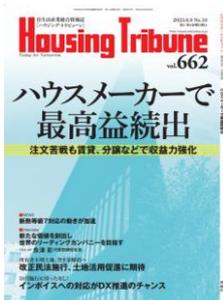


●住生活産業総合雑誌「ハウジングトリビューン」2023年 Vol.662(2023年6月9日 No.10)
第2・第4金曜日発行 隔週連載「金丸弘美レポート」48回目。

「築150年の木造家屋をリノベし御茶碗窯記念館に唐津の食器でもてなす料理会も
唐津焼430年の歴史から食・音楽までを堪能」

古民家利用「農村観光」、民家や庁舎のリノベーションによる地域の取り組みを紹介。

<https://htonline.sohjusha.co.jp/rensai/kanemaru-report/>



これまでの連載のバックナンバーはQRコードから観ることができます。

(写真は佐賀県唐津市・中里太郎右衛門陶房のキッチン付き記念館)

●食の雑誌「味の味」(アイディア)でエッセイ「地食が面白い」隔月連載中。連載97。雑誌はHP掲載の飲食店に置いてあります。2023年6月号は「環境と旬と循環を食から学ぶ埼玉県「三富今昔村」石坂産業「石坂オーガニックファーム」内の「納屋茶寮 MEGURU」を紹介。

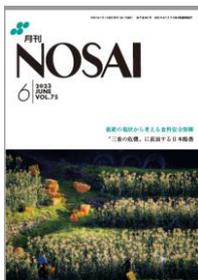
建物は農家の農具置き場をリノベーションしたものです。素敵な空間に生まれかわりました。



「味の味」ホームページ <http://ajinoaji.com/>

●「月刊 NOSAI」(全国農業共済協会)「農と食で高める地域の力」 連載中
活力ある未来にむけた取組をする農家を紹介しています。

「佐賀牛ブランドの充実を目指す 宮崎牧場」(佐賀県唐津市鎮西町) (11 ページ)



7月号予告「イタリアのアグリツーリズム(農村観光)」岡崎啓子・金丸弘美共著

http://www.nosai.or.jp/nosai_kasou/syuppan.html

●WAN サイト連載「金丸弘美のニッポンはおいしい！」連載24
農業と食の現場で活躍する女性を紹介。最新号をお届けします。

「イタリアから世界へ。持続社会を食・土・伝統文化を繋ぐプロジェクト GEN 主催
・齋藤由佳子さん」(前編、後編が QR コードから読めます)

<https://wan.or.jp/article/show/10599#gsc.tab=0> (前編)

<https://wan.or.jp/article/show/10603#gsc.tab=0> (後編)



北イタリア・ピエモンテ州在住。人と地域と食文化や環境や営みを繋ぐ GEN (げん) 主宰。
2015 年ミラノ国際万博と三重県の食文化発信、山形県鶴岡市ユネスコ食文化創造都市国際
交流。2023 年イタリア・フィンランドの国際メンバーと鹿児島、埼玉、群馬、東京、静岡
など酢、焼酎、納豆、味噌、醤油、酒造、鯉節など発酵を中心としたサステナブルな取り
組みの交流が実現。

埼玉県三芳町・石坂産業と環境と循環を学ぶフォーラムが大きく登場します。
数々の連携事業をされている齋藤由佳子さんたちの取組を紹介。

WAN とは社会学者・上野千鶴子先生 (東大名誉教授) 理事長の
(認定 NPO 法人ウィメンズ・アクション・ネットワーク)。

上野先生から「女性に焦点をあてて書いてください」との話から始まりました。

WAN メンバーのサポートでの連載。 <https://wan.or.jp/ueno>

タイトルの命名も上野先生です。

各地の女性たちが新たなイノベーションを生み出しています。

これまでのバックナンバー。素敵な女性たちが登場します！

<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/yotei/yoteidetail.php?&no=768&a=2017>



JAの雑誌「地上」6月号(5月1日発売) 特集を組んでいただきました!



「青年農家のための「地域づくり」大全」(16 ページ)

○編集協力:食総合プロデューサー・金丸弘美

巻頭 概説「地域にあるものをいかに組み合わせていくか」金丸弘美

テーマ1「事業を生む」和歌山県田辺市「たなべ未来創造塾」若人の起業支援

活躍1「空き家を活用しパン店を開業」(浅賀由貴乃さん「焼きたてパン D'oh!」)

活躍2「空き家を活用してゲストハウスに」(金丸知弘・りさ夫妻)

活躍3「柑橘販売からジビエまで」(株日向屋・岡本和宜代さん、
ジビエ加工職人・湯川俊之さん、シェフ・更井亮介さん)

テーマ2「空き家を使う」富山県立山町 坂口創作さん (東京より家族で移住し新規就農)

テーマ3「関係を育む」愛知県豊田市「一般社団法人押井営農組合」※編集部取材

テーマ4「数字で読む」農産漁村イノベーション対策他 ※編集部作成

テーマ5「食のテキストをつくる」茨城県小美玉市 食のテキストとワークショップ

テーマ6「双方を結ぶ」新潟県長岡市「にいがたイナカレッジ」※編集部取材

テーマ7「地域をつなぐ」栃木県益子町「道の駅ましこ」地域全体をマネジメントする
(テーマの1. 2. 5. 7を金丸が執筆しました)

【購入方法】

お求めは、お近くのJA(農協)か下記URLまたはQRコードからご注文ください。



<http://www.ienohikari.net/press/chijo/order/>

●「月刊社会民主」6月号 「田舎力 地域力創造」vol.170

全国に広がる発酵がつなぐ地域づくり

NPO 発酵文化推進機構、NPO メダカのがっこう、石坂産業「石坂オーガニックファーム」



●【金丸弘美 特別寄稿】もっと先の未来への歩み(合同出版) WEBで連載配信中です。

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n35062.html>

- ◎第1弾 4期目のたなべ未来創造塾(和歌山県田辺市)
- ◎第2弾 農村観光の本場からの最新レポート(イタリア:エミリア・ロマーニャ州)
- ◎第3弾 福井県大野市のそばのブランド化とプロモーションのその後
- ◎第4弾 コロナ禍に起きている若者たちの関心・需要の変化
- ◎第5弾 イタリア料理を世界に知らしめた本が翻訳され登場
- ◎第6弾 地域の食をブランドにする 食のテキストづくりとワークショップ
- ◎第7弾 直売所プラスαの売り先を工夫して自慢の野菜はすべて売り切る
- ◎第8弾 「イタリア・スローフードに学ぶ地域農産物のアピール」
- ◎第9弾 若者に届く移住・起業支援の施策(和歌山県田辺市、高知県)



(写真は、イタリア・エミリア＝ロマーニャ州のアグリツーリズム)

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n34930.html>

●「創造的な食育ワークショップ」金丸弘美著 岩波書店(表紙・矢吹申彦)



食のテキスト化、ワークショップなどの実践を紹介。総務省の目にとまり、増田寛也総務大臣と会い、12名が呼ばれ「地方創生」の先駆けプロジェクトとなり、総務省地域力創造アドバイザーを拝命。各地での活動をする大きなきっかけとなった本です。

●東京都目黒区から和歌山県田辺市龍神村へ移住。

金丸知弘が『新しい選択肢としての「地方移住」』を連載中です。

「月刊クリンネス」(一般財団法人環境文化研究所)

<https://www.kanbunken.org/publication/>

「月刊クリンネス」の発行はイカリ消毒。<https://www.ikari.co.jp/company/overview/>

冊子は全国100か所の営業所で配布されています。発行部数2万部。



●「子育て世代のための 快適移住マニュアル

知っておきたい、田舎でできる仕事・お金・子育て・地域のおつきあい」

金丸知弘著 出版社:誠文堂新光社

<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/book/bookdetail.php?no=212&a=1>

「読売新聞」「TURNS」「地域人」「生島ヒロシのお早う一直線」「紀伊民報」始め30媒体で紹介。

●世界自然遺産に登録奄美諸島・徳之島。家族が暮らした9年間の出来事と人との出会いを描いたノンフィクションエッセイ。「ゆらしい島のスローライフ」金丸弘美著(学研)

絵:唐仁原教久、写真:阿部雄介 推薦:小泉武夫氏



<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/book/bookdetail.php?no=1118&a=1>

●大阪公立大学都市経営研究科講義「自然な農と食を活かした地域活性化」が番組になりました。

YouTubeで配信中です。QRコードから観ることができます。公開シンポジウム(前編) (後編)



東京都練馬区から広がる都市農業(写真上)、今治市「さいさいきて屋」完熟イチゴのタルト(写真右)
(制作・うじてれび ディレクター・森田肇哉)

前編 <https://youtu.be/VTW-NfgQBQg> (24分) 後編 https://youtu.be/-NgBXMJx_S4 (28分)

●東海農政局シンポジウム(第17回食育推進全国大会 in あいち)公開中。

☆基調講演: 一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン 合瀬 宏毅 理事長

☆講演・パネルディスカッション: 食環境ジャーナリスト 金丸 弘美氏

カゴメ株式会社 代表取締役社長 山口 聡氏/ 女子栄養大学名誉教授 金田 雅代氏

株式会社日本総合研究所 藻谷 浩介氏/ 日本料理店「一灯」料理長 長田 勇久氏



<https://www.syokuikutaikail7th-aichi.jp/archive/>

●「食育で育む未来の町づくり」YouTube配信(制作: 京都府宇治市&うじてれび)



(左・高知県土佐市、右・兵庫県豊岡市) <https://www.youtube.com/watch?v=-ztpU9TX8J8>



👉 金丸弘美ホームページ

●「地方創生」を支援する国の人材派遣事業。

国の人材派遣事業: 金丸弘美は登録されており、国の制度で現地にかがうことができます。

●総務省の人材派遣事業 総務省地域力創造アドバイザー

年間5回以上の派遣。現地にかがい、1年間を通じ地域の課題を一緒に取り組んでいく制度。市町村が独自に予算をたて総務省に登録の金丸弘美を要請した場合、かかった費用は地方交付税で補てんされる制度。オンラインでのアドバイスも可能。

<https://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/>



●内閣官房の伝道師派遣制度 内閣官房地域活性化伝道師

地域アドバイスを実施するもの。内閣府からも担当者がきます。現地の取り組みを観て、地域の方に集まっていたいただき、各地の事例や、今後の展開を協議するもの。

1、3回にかがうこととなります。費用は内閣府から出ます。

内閣府 地域活性化推進事務局 <https://www.chisou.go.jp/tiiki/ouentai.html>



●エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク」(略称:エネ会議) <https://enekei.jp/>

メルマガで特別インタビュー配信。QRコードから読むことができます。

<https://enekei.jp/mmz/mailmagavol205.html>

【地域経済循環について エネ経会議アドバイザー・金丸弘美氏に聞く】



(写真は、環境都市・ドイツ・フライブルグ)

■絶賛発売中 「地域の食をブランドにする！ 食のテキストを作ろう」



岩波ブックレット(岩波書店) 金丸弘美著 本体 620 円(税込み 670 円)

<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/book/bookdetail.php?no=209&a=1>

「読売新聞」「日本農業新聞」など11メディアで紹介されています。

金丸弘美の好評の食と地域づくりの本



『田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』(NHK 生活人新書) 15刷り

『食にまつわる55の不都合な真実』(ディスカヴァー携書) 3刷り

『田舎の力が未来をつくる!ヒト・カネ・コが持続するローカルからの変革』(合同出版)

『幸せな田舎のつくりかた 地域の誇りが人を繋ぎ、小さな経済を動かす』(学芸出版) 4刷り

『里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える』(角川新書)

『タカラは足元にあり! 地方経済活性化戦略』(合同出版)



『実践! 田舎力ー小さくても経済が回る5つの方法』(NHK 新書)

『えんやー写真集・唐津くんち』(家の光協会)

『給食で育つ賢い子ども』(ソトコト新書)

『美味しい田舎のつくりかた：地域の味が、人をつなぎ、小さな経済を耕す』(学芸出版)

『地域ブランドを引き出す力』(合同出版) 味覚講座から地域ブランドまでノウハウを満載